

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 きづき会

**令和 6 年度 特別養護老人ホームいなさ園
事業報告書 特養部門**

令和 7 年 3 月 31 日現在

1. 特養部門年次目標について

・表 I 参照

2. 入居者の動向

①入居者数

男 性	18 名	計 76 名
女 性	58 名	

②入退所状況

入 所	男 性	6 名	計 13 名
	女 性	7 名	
退 所	男 性	8 名	計 17 名
	女 性	9 名	

③退所理由

	園にて死亡	園外にて死亡	医療機関入院	その他
人 数	13 名	3 名	1 名	0 名

④年齢構成・在籍期間

		平均年齢	最高年齢	在籍期間
男 性	18 名	85.4 歳	94 歳	3 年 5 月
女 性	58 名	88.5 歳	105 歳	3 年 2 月
計	76 名	87.8 歳	105 歳	3 年 3 月

⑤平均介護度

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均 介護度
男 性	0	1	5	7	5	3.9
女 性	0	1	5	31	21	4.2
計	0	2	10	38	26	4.2

⑥入居者の移動状況

・表 II 参照

⑦ベッド稼働率

・表 III 参照

⑧リハビリ実施状況

・表 IV 参照

3. 入居者の生活

①入居者支援

i) グループケア

本館グループ、新館グループの2グループ体制で、それぞれに介護職員を配置し、施設ケアを提供した。介護職員の確保が難しいなか、人材不足を補い効率的・効果的にケアを提供できるようグループ運営に努めた。

ii) ケアプラン

グループの構成メンバーと施設ケアマネジャーを中心として、入居者・職員共に2つのグループに分かれ、グループごとに月に一度のカンファレンスを行い、その中で個別の生活支援計画の作成、見直しを行いました。

iii) グループリーダー会

グループ毎のリーダーが月・2回会議を行い、グループの調整・課題解決等を行いました。会議を重ねることで、リーダー育成も同時に行えるよう配慮しました。

iv) グループ会

毎月1回会議を行い、グループ運営について介護職員間で意見交換を行う。働きやすい環境作りの一環として、従来の時間外の開催から、時間内（日中1時間）の開催に変更した。

v) 専門委員会

排泄介助、事故防止、看取り、口腔ケアなどの各委員会を設置し、全職員が委員会に所属。それぞれの分野ごとに委員会が中心となりサービス内容を検討、改善を図る。委員会主催の研修会を実施し、介護サービスの向上を図りました。

vi) 入居者着替えの実施

入居者の生活リズムを整え、また、寝たきり防止・ADLの向上など活動的な日常生活を過ごして頂くよう、朝・夕の着替えの実施を推進しました。

vii) 外出支援

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類相当に変更されたことに伴い、施設ケアとしての外出支援を再開する。実施にあたっては、各グループ毎月1名程度を対象に計画し、自宅や希望される場所へ2時間程度の外出を提供できた。

viii) 介護相談員事業

出雲市主体による介護相談員が、入居者の話を聞き相談に応じる活動を通じ、利用者の疑問や不満、不安の解消を図る。その情報を受け介護サービスの質的な向上を図る。

応接室にて個別で面談を行うが、お互いがマスク着用であるためアクリルボードの使用は終了した。

②年間行事

七夕祭り	未実施	新年会	1月8日(水)
納涼祭	8月21日(水) 内部だけで小規模に実施	とんどさん	1月11日(土)
敬老祝賀会	9月28日(土)	節分	未実施
文化祭	11月9日(土)	ひな祭り	未実施
クリスマス忘年会	12月18日(水)	避難訓練(全体)	6月5日(水)
		避難訓練	10月30日(水)

③クラブ活動

・花バサミクラブ(生け花) 毎月最終水曜日 10:00～

※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

4. 施設実習受入れ

実習受任施設 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校
 7月5日～7月24日 2年生 1名
 11月19日～12月17日 2年生 1名
 出雲西高等学校
 10月15日～10月18日 3年生 2名
 島根県夏休み介護の職場(仕事)体験事業
 8月2日 大社高校3年生 1名
 島根県介護等体験
 8月5日～8月9日 京都女子大学教育学科 1名
 介護労働安定センター
 10月23日～10月25日 1名
 島根県立大学(老年看護学実習)
 10月8、10、11日 3年生 2名
 1月14、16、17日 3年生 2名
 実習生総数 11名

5. 外国人材受入れ

国籍・管理会社 ミャンマー・オノデラユーザーラン
 採用日・人数 令和5年7月18日(女性2名)
 令和5年10月30日(女性2名)
 育成体制 生活責任者:施設長他事務職員
 業務責任者:石飛麻紀子介護指導員(サポート:SW, CM)
 世話人:岡優子、高橋知子、坂本美江、西尾弓子
 法定研修担当者:副施設長
 育成方法概要 OJTによる指導と業務責任者並びに世話人の定期面談
 外国人材担当者会議を毎月実施

6. 外部事業受入れ

出雲市役所 介護相談員事業 12回

7. 短期入所生活介護

短期入所 i ベッド数 : 10 ベッド

ii 基本数 (ベッド数×総日数) : 3,650 日
iii 延利用実数 : 2,632 人
iv ベッド稼働率 : 72.1% ・表Ⅲ 参照

令和6年度事業報告（看護部門）

1. 職員体制

常勤看護師 6名 非常勤看護師 4名

2. 平常業務

体重測定 毎月1回（対象者＝入所者全員）

定期薬依頼 処方1回／2週

回診補佐 1回／1週（水曜日）

デイサービス急変時対応 月～金曜日

バイタルサインのチェック 最低全員月1回、健康状態により1日4回
（体温、血圧、脈拍、酸素濃度、一般状態等）

各種検査 心電図、検尿、貧血、炎症反応、血糖、肝機能、腎機能、
脂質、電解質、潜血便、その他

採血・注射 指示による

処置 創消毒、軟膏塗布、シップ貼付、点眼、経管栄養チューブ交換
人工肛門ラパック交換、バルンカテーテル交換、

介助業務 経管栄養注入、食事介助、配薬準備、入浴観察、

薬品管理 薬品全般、消毒液等の管理、定期薬受け

食事指導 職種間での協議及び連絡

オンコール 夜間の状態変化、緊急時対応

ショートステイ 入所時の問診、バイタルチェック、内服管理、排便管理

3. 各科受診

歯科往診（随時、23回／年）

眼科受診（随時、1回／年）

精神科受診（1回／月、32回／年）

整形外科受診（随時、13回／年）

中央病院受診（随時、30回／年）

医大受診（随時、3回／年）

その他受診（随時、7回／年）

皮膚科受診（随時、3回／年）

4. 書類管理

保険証、福祉医療費資格証、

産業廃棄物管理票（マニフェスト）

5. 入退院及び死亡

入院＝ 20名 死亡＝16名

6. 職員健康診断

5月（全職員）

11月（夜間業務従事者のみ）

7. その他の取組み

- ・ 重度化、ターミナルケアへの取組み
- ・ 個々のスキルアップ（研修等への参加）

令和6年度 事業報告書（栄養部門）

1. 行事食について

7月 7日 七夕祭り 特別献立

9月28日 敬老会 特別献立

12月25日 クリスマス献立

1月 1日、2日 おせち料理

1月 7日 七草がゆ

3月 3日 ひな祭り 特別献立

2. 入所者の食事について

給食栄養量については、入所者個々の性別、年齢、身長、体重、身体活動量等で、算出した数値を目安に、食事摂取状況、体重の変化、体調を考慮し、食事量を調整し提供した。

また、栄養ケア・マネージメントを行い、定期的に栄養状態を評価し、必要な方に栄養補助食品を提供した。

① 咀嚼、嚥下困難な方への対応

個々の摂食、嚥下機能の状態により、トロミ調整食品、ゼリー食用、ウルトラ寒天等を使用。

食事形態の中で、魚、肉のソフト食、あんかけ食等も提供した。

② 個別にアセスメントを作成し、嗜好、禁忌食品、アレルギー等を考慮し、代替食を行った。

③ 看取り期は、ご本人の好みの物を食べ易い形状で提供した。

④ 療養食加算—糖尿病食1名（60円/日）

※入所者の食事形態別人数（令和 7年3月31日現在 本入所者のみ）

	給食数														経腸栄養	
	主食								副食							
	米飯	おにぎり	全粥	七分粥	五分粥	おもゆ	ミキサー	パン	合計	軟菜	刻み	超刻み	ミキサー	ゼリー		合計
朝	11	1	41				18	2	73	15	30	15	13		73	3
昼	12	2	41				18		73	15	30	15	13		73	3
夜	12	1	41				18	1	73	15	30	15	13		73	3

3. 給食栄養摂取状況（令和 6年4月1日～令和 7年3月31日）

・給食延食数 74,298 食（ショートステイを含む）

4. デイサービス（令和 6年4月1日～令和 7年3月31日）

・給食延食数 6,748 食

○表 I

年次目標に関する評価

【いなさ園 特養部門】

令和 6 年度事業報告

【全体目標】	
目標 1	コロナ禍の閉ざされた生活から開かれた生活への転換期において、入所者並びに来園者に対する接遇を言葉遣い中心に再確認し、ケアの質向上とご家族や地域の信頼につなげる。
評価	面会の条件緩和、敬老祝賀会への家族参加など開かれた生活の再開を進めることはできたが、接遇の向上については職員個々の意識の差が課題として残った。また、年度末にはコロナのクラスターも発生し、脱コロナも一時停止することとなったため、次年度に引き続き取り組みが必要と考える。
目標 2	令和 6 年度介護保険制度改正・報酬改定を理解し、必要な対応を行う。
評価	ライフの活用、医療機関との連携、口腔ケアへの取り組みなど各種制度改正への対応は概ね実施できた。生産性向上に関しては今後の取り組みとして計画することとする。
目標 3	ノーリフティングケアの研究に取り組み、職員の身体的な負担を軽減し、健康で長く働ける環境を目指す。
評価	委員会としての情報収集や備品の調達はできたが、スタート時にコロナクラスターが発生したため、実践に向けての勉強会、器具操作説明会などが予定通り実施できなかった。準備を整えることはできたので、7 年度の実施に向けて引き続き委員会を中心として活動を進める。
目標 4	施設の利便性向上のため、リフォーム工事を安全に計画的に実施する。
評価	事故無く、計画通り 10 月に工事を終えることができた。結果として来客や職員の利便性向上に繋がった。
【事務部門】	
目標 1	施設全体の整理整頓に努め、在庫把握をし適切な物品発注を行う。備品の管理を行うことにより、無駄をなくし施設全体の美化へと繋げる。
評価	使用目的・方法等確認し、今ある在庫を把握し適切な発注量を心がけることができ、在庫管理ができ一部の経費削減ができた。
目標 2	各自役割分担を把握し、知識向上に努め事務処理の効率化及び資質向上を図る。
評価	電子メール、LINE ワークスの利用により事務連絡及び処理が迅速に行えるようになり時間を有効活用できた。
目標 3	迅速、丁寧な対応を心掛け、常日頃からの他部署との情報共有連携を図りスムーズな来客、面会、電話対応へ繋げる。
評価	職員同志の日々情報共有を心掛け、窓口等での接客対応がスムーズに行えるようになった。

【支援相談員部門】	
目標 1	科学的介護情報システム（LIFE）の報告からフィードバックまでの、一連のプロセスを適切に実行できる体制作り。
評価	報告については体制構築ができ、報告作業を計画的に実施できた。フィードバックは課題が残り、特に分析から施設ケアへの反映という点では更なる取り組みが必要である。 令和 6 年 6 月分から、科学的介護推進体制加算Ⅱの算定を開始している。
目標 2	介護記録について、記録内容の質を向上する。加えて、ICT 化したことによる本来の目的である情報共有、業務効率化の機能をきちんと活用するための体制作り。
評価	一部の紙媒体の記録物を廃止し、介護ソフトに、より正確な記録が集約できた。また、個人差はあるものの記録時間の短縮にも繋がった。更に多職種の記録が介護ソフトで集約、共有できるよう、現在も残っている紙媒体の介護ソフトへの移行、介護、看護以外の職種も介護ソフトに携わる体制構築が課題である。
【介護部門】	
目標 1	ノーリフティングケアの技術を研究・導入することで、利用者の安全と尊厳を確保しつつ、職員の身体的負担を改善し、全体のサービス品質と効率を向上させる。
評価	リフト導入に向けて研修会を実施したり、アシストスーツの試着体験を行う。スライディングボードは特定の利用者に使用し、移乗介助で活用している。 リフトの本格的な導入は令和 7 年度への取り組み項目として委員会を中心に進めていきたい。
目標 2	職員の質、サービスの質の向上のため、施設内研修や外部研修に積極的に参加するよう促す。
評価	施設内研修（全体会）への積極的な参加促し、参加できなかった職員に対しては、後日何回かに分けて再研修を行った。 外部研修には積極的な参加はあまりなかった。管理側より外部研修に対し広く職員に案内する必要があった。
【看護部門】	
目標 1	看護業務マニュアルの見直し、新人看護師の指導において共通の認識の中で指導が行えるよう文書化し、指導にバラツキなくスムーズな看護業務の習得を目指す。
評価	新人の指導において、指導のバラツキが起きないように指導者を 2 人に固定し、指導者が不在になり新人が相談する相手がいない日がないようにすることで、困惑することなく看護業務を習得することができたが、文書化にまではいたらなかった。
目標 2	フィジカルアセスメント能力の向上（入所者の普段の健康状態の把握）、入所者の病歴を把握し、再発予防と異常の早期発見に努める。
評価	異常が発生した際に、他の看護師と状態を把握することで異常の早期発見を見

	逃すことのないように努めたが、看護師個々のアセスメント能力に差がある。
【機能訓練部門】	
目標 1	ADL 状況、身体機能の変化を明確化するために、Barthel Index、関節可動域、筋力などの評価を適宜行う。
評価	適宜、身体機能の変化、Barthel Index などの評価を行うことができた。今後はスタッフ間での評価内容の共有、考察などの強化に努めていく。
目標 2	利用者様のニーズに沿った機能訓練を提供するため、利用者様とのコミュニケーションを大切に、他職種との連携の強化を目指す。
評価	利用者様との積極的なコミュニケーション、他職種との連携行うことができた。各スタッフ利用者様とのコミュニケーションの内容、言葉遣いなど精査しさらなる質の向上を目指していく。
目標 3	利用者様のニーズ、身体機能など包括的に評価し、個別機能訓練計画書を作成する。
評価	利用者様のニーズを考え個別機能訓練計画書を作成することができた。一部、訓練内容など画一的になっている部分がある為、利用者様 1 人 1 人に寄り添った訓練を提供する。
【調理部門】	
目標 1	利用者様にとって食事が日々の生活の楽しみとなるよう、季節感を大切に、安心安全な食事を提供する。
評価	旬の食材を使い、季節を感じてもらえる様な食事を提供できた。また、食事形態を細かくし、個々に合った食べ易い食事を提供した。
目標 2	食器や調理器具の丁寧な洗浄消毒は勿論、厨房内掃除の徹底と清潔を心がけ、感染症や食中毒を予防する。
評価	手指や調理器具の洗浄、消毒を徹底し、厨房内清潔を心がけ、感染症や食中毒の予防に努めた。
【短期入所部門】	
目標 1	利用者様が安心して自宅での生活が継続できるように、心身の状況やその置かれている環境等を適切に把握し、継続したサービスが定期用できるように努めます。
評価	家族や担当ケアマネ、他の利用サービスとの連携を密にして、利用者様を多角的に把握できるようにし、適切なサービス提供へと繋げれるよう努めた。
目標 2	家族様の相談に適切に対応し助言や必要な援助を行う。また家族様が社会生活を最大限営めるために要望（日程・送迎時間等）に配慮する。
評価	ご利用日時や送迎時間など家族様の要望に対して柔軟に応えられるよう努めた。

○表 II

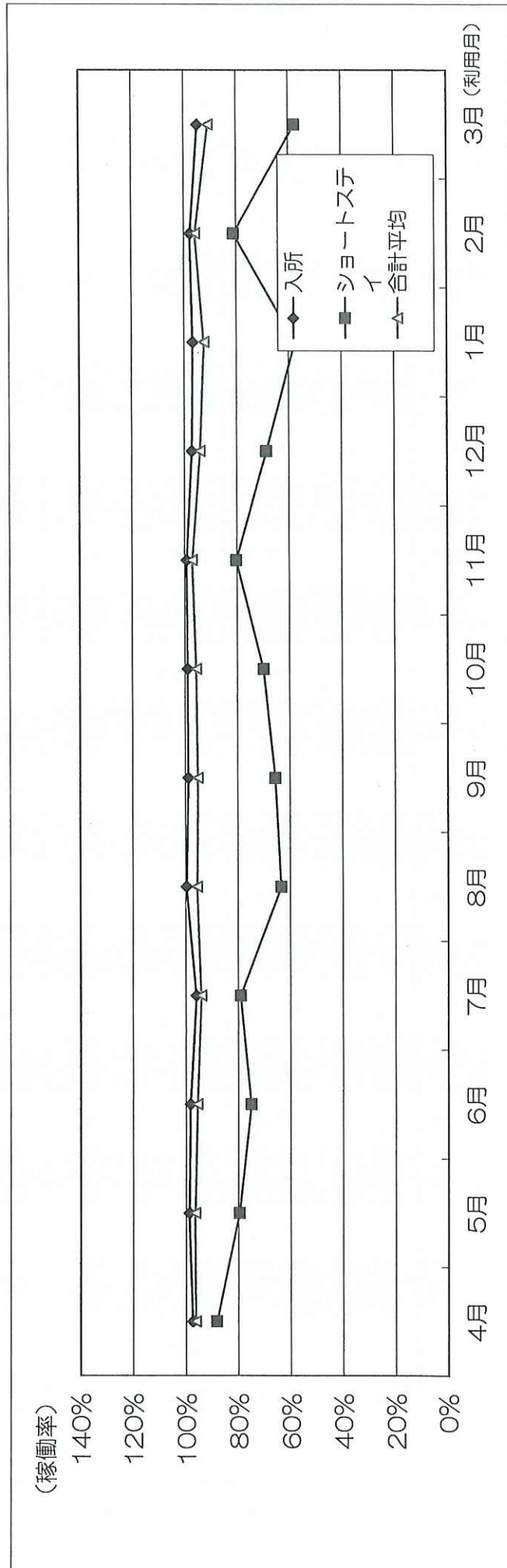
令和6年度 特別養護老人ホームいなさ園 入居者移動状況表

	新規入所		退所		入院		外泊		月末在籍		入院延べ日数		入所延べ人数	
4月	1		2		3		0		80		48		2338	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	1	1	1	2	0	0	20	60	10	38	589	1749
5月	1		1		0		0		79		0		2449	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	0	1	0	0	0	0	0	19	60	0	0	589	1860
6月	2		3		3		0		79		19		2359	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	2	0	2	1	1	2	0	0	20	59	9	10	586	1773
7月	3		1		3		0		80		51		2383	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	2	0	1	1	2	0	0	20	60	9	42	595	1788
8月	0		1		2		0		80		7		2473	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	0	0	1	1	1	0	0	20	60	6	1	614	1859
9月	1		1		1		0		79		1		2376	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	1	0	1	0	0	0	19	60	1	0	592	1784
10月	1		0		0		0		80		0		2456	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	0	0	0	0	0	0	0	20	60	0	0	596	1860
11月	0		0		3		0		80		15		2385	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	0	0	0	0	3	0	0	20	60	0	15	600	1785
12月	0		0		4		0		80		68		2412	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	0	0	0	2	2	0	0	20	60	24	44	596	1816
1月	1		2		4		0		79		65		2401	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	0	2	1	3	0	0	20	59	13	52	607	1794
2月	1		2		3		0		78		37		2190	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	1	1	0	3	0	0	19	59	0	37	559	1631
3月	2		4		1		0		76		24		2355	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	1	2	2	1	0	0	0	18	58	24	0	537	1818

○表 Ⅲ 令和6年度 特別養護老人ホームいなさ園ベッド稼働率 状況表

利用月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総日数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
入所	ベッド数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960
	基本数 (ベッド数×総日数)	2400	2480	2400	2480	2480	2400	2480	2400	2480	2480	2240	2480	29200
	延利用実数	2338	2449	2359	2383	2473	2376	2456	2385	2412	2401	2190	2355	28577 (26699)
短期入所	稼働率	97.4%	98.8%	98.3%	96.1%	99.7%	99.0%	99.0%	99.4%	97.3%	96.8%	97.8%	95.0%	97.9% (91.2%)
	ベッド数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	基本数 (ベッド数×総日数)	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3650
合計	延利用実数	265	247	225	245	197	197	217	241	213	179	227	179	2632 (1890)
	稼働率	88.3%	79.7%	75.0%	79.0%	63.5%	65.7%	70.0%	80.3%	68.7%	57.7%	81.1%	57.7%	72.1% (51.6%)
	ベッド数	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	1080
合計	基本数 (ベッド数×総日数)	2700	2790	2700	2790	2790	2700	2790	2700	2790	2790	2520	2790	32850
	延利用実数	2603	2696	2584	2628	2670	2573	2673	2626	2625	2580	2417	2534	31209 (28589)
	稼働率	96.4%	96.6%	95.7%	94.2%	95.7%	95.3%	95.8%	97.3%	94.1%	92.5%	95.9%	90.8%	95.0% (86.8%)

※ 短期入所は振替・身障利用を含む。



リハビリ実施状況

令和7年3月31日現在

項 目		実日数	延べ人数	詳 細							
				ROM	滑 車	大腿 四頭筋	歩 行	立位 (ウォーカー) (平行棒)	座位 温熱 その他	リハビ リ 体操	合計
4月	5年度	20	679	483	38	193	69	244	34	253	1314
	6年度	21	798	478	9	267	69	341	42	327	1533
5月	5年度	20	747	470	20	293	97	367	28	358	1633
	6年度	21	937	463	18	444	117	447	49	460	1998
6月	5年度	18	634	634	31	179	85	262	18	178	1387
	6年度	20	915	466	17	386	118	423	49	472	1931
7月	5年度	20	679	461	28	191	77	250	15	252	1274
	6年度	22	927	518	18	360	116	369	37	330	1748
8月	5年度	22	840	543	44	261	86	316	20	352	1622
	6年度	21	945	534	15	312	100	314	26	435	1736
9月	5年度	21	818	518	36	216	77	289	35	348	1519
	6年度	19	920	514	18	288	98	276	11	446	1651
10月	5年度	21	748	485	42	200	78	313	31	193	1342
	6年度	22	1093	571	21	346	96	365	22	555	1976
11月	5年度	20	878	517	39	301	90	366	33	413	1759
	6年度	20	1013	520	20	323	96	362	19	516	1856
12月	5年度	20	875	505	40	315	96	404	16	413	1789
	6年度	20	854	449	20	275	74	311	10	400	1539
1月	5年度	19	767	449	16	271	74	319	14	351	1494
	6年度	19	793	431	17	250	89	257	0	381	1425
2月	5年度	20	698	417	19	265	69	333	4	161	1268
	6年度	19	706	360	14	239	83	249	5	346	1296
3月	5年度	22	964	512	19	334	109	463	31	448	1916
	6年度	11	285	211	5	74	25	73	0	23	411
計	5年度	243	9327	5994	372	3019	1007	3926	279	3720	18317
	6年度	235	10186	5515	192	3564	1081	3787	270	4691	19100

令和6年度 事業報告：通所介護事業

1. 事業所名：いなさ園デイサービスセンター

2. 職員体制状況

職 種	員 数	所持資格、勤怠状況等
管 理 者	1 名	介護支援専門員・介護福祉士、生活相談員と兼務
生活相談員	1 名	管理者と兼務
介護職員	7 名	介護福祉士 7 名、内 3 名訪問入浴介護事業所と兼務
看護職員	2 名	准看護師 2 名。機能訓練指導員及び訪問入浴介護と兼務

3. 事業目標数、営業日数及び利用者動静

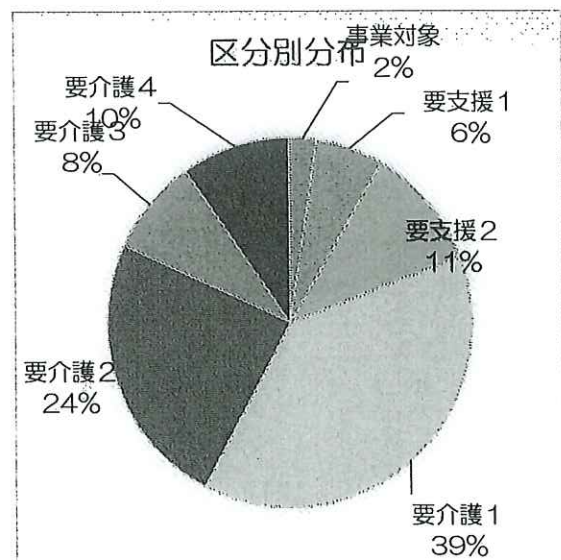
区 分	月/年間延べ目標件数	営業日数	新規登録	終了	3 月末登録
通所型独自	60 件/720 件	252 日	5 件	1 件	16 件
通所介護	480 件/5,760 件		19 件	20 件	68 件

4. 事業実績（「()」内は昨年実績）

	件 数					
	通所型独自		通所介護		合 計	
R6.4 月	50 件	(49 件)	542 件	(457 件)	592 件	(506 件)
5 月	70 件	(55 件)	513 件	(474 件)	583 件	(529 件)
6 月	65 件	(55 件)	472 件	(510 件)	537 件	(565 件)
7 月	57 件	(48 件)	424 件	(514 件)	481 件	(562 件)
8 月	63 件	(54 件)	479 件	(551 件)	542 件	(605 件)
9 月	64 件	(42 件)	492 件	(499 件)	556 件	(541 件)
10 月	68 件	(43 件)	535 件	(534 件)	603 件	(577 件)
11 月	75 件	(33 件)	483 件	(495 件)	558 件	(528 件)
12 月	71 件	(36 件)	476 件	(480 件)	547 件	(516 件)
R7.1 月	68 件	(42 件)	428 件	(460 件)	496 件	(502 件)
2 月	68 件	(51 件)	447 件	(504 件)	515 件	(555 件)
3 月	74 件	(50 件)	497 件	(514 件)	571 件	(564 件)
合 計	793 件	(558 件)	5,788 件	(5,992 件)	6,581 件	(6,550 件)

5. 介護認定等区分（「()」内は昨年実績）

区 分	人 数	
事業対象者	2 人	(1 人)
要支援 1	5 人	(5 人)
要支援 2	9 人	(6 人)
要介護 1	32 人	(32 人)
要介護 2	20 人	(18 人)
要介護 3	7 人	(6 人)
要介護 4	8 人	(5 人)
要介護 5	0 人	(0 人)
平均介護度	1.86	(1.73)



6. 加算取得状況

加算名	単位数	算定件数
サービス提供体制強化加算(Ⅰ):独自	88 単位/月、176 単位/月	793 件
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)Ⅰ:介護	22 単位/回	5,788 件
個別機能訓練加算(Ⅰ)Ⅰ	ⅠⅠ:56 単位/日	2,247 件
個別機能訓練加算Ⅱ	20 単位/月	0 件
入浴介助加算(Ⅰ)、(Ⅱ)	Ⅰ:40 単位/日	4,673 件
ADL 維持等加算(Ⅰ)	30 単位/月	0 件
ADL 維持等加算(Ⅱ)	60 単位/月	0 件
科学的介護推進体制	40 単位/月	0 件
口腔栄養スクリーニング加算(Ⅰ)(Ⅱ)	Ⅰ:20 単位/回、Ⅱ:5 単位/回	0 件
栄養アセスメント加算	50 単位/月	0 件
介護職員処遇改善加算Ⅰ:独自	所定単位×92/1000	793 件
介護職員処遇改善加算Ⅰ:介護	所定単位×92/1000	5,788 件

7. 今期のケース分析

例年通り要介護1及び2のご利用者の割合が高い状態ですが、杖、歩行器、車椅子等の何らかの福祉用具を使用される方が増えています。利用回数を増やされるご利用者が増える一方、短期入所生活介護等の宿泊サービスの日数を増やされる方もあり、できるだけ空きが多くならないように新規の受け入れをしたりして予定を組みました。

8. 令和6年度事業計画目標 取組最終報告

①職員全員が介護報酬改定とBCP計画について理解し、準備した研修計画に基づいて研修を実施し評価を行う。

全体会やデイ訪入会にて研修を受け学びを深めました。

②外部研修への参加機会を増やす。

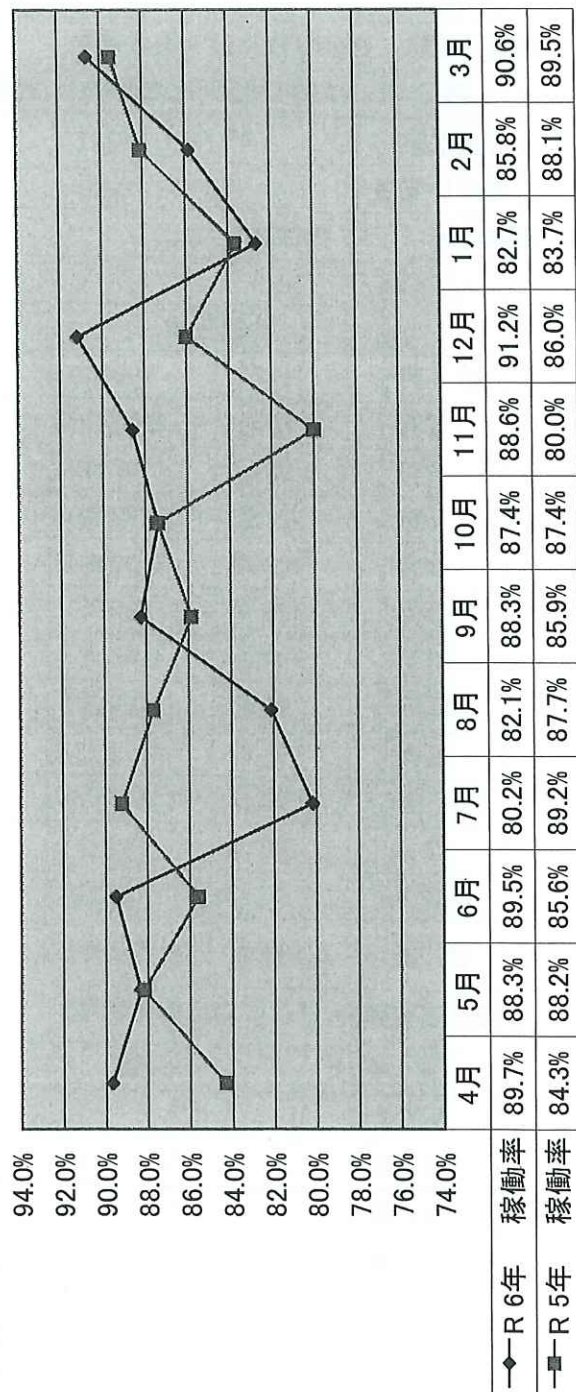
③利用満足度調査を実施し事業所の現状理解と改善等を行う。

②③は未実施のため令和7年度に実施したい。

令和6年度 通所介護事業所 稼働状況（総合事業、介護事業）

利 用 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	22	22	20	20	22	21	23	21	20	20	20	21	252
定員数	660	660	600	600	660	630	690	630	600	600	600	630	7560
利用実数	592	583	537	481	542	556	603	558	547	496	515	571	6581
利用内訳/介	542	513	472	424	479	492	535	483	476	428	447	497	5788
利用内訳/総	50	70	65	57	63	64	68	75	71	68	68	74	793
R 6 年稼働率	89.7%	88.3%	89.5%	80.2%	82.1%	88.3%	87.4%	88.6%	91.2%	82.7%	85.8%	90.6%	87.1%
R 5 年稼働率	84.3%	88.2%	85.6%	89.2%	87.7%	85.9%	87.4%	80.0%	86.0%	83.7%	88.1%	89.5%	86.3%

いなさ園 通所介護事業所 稼働率



令和6年度 事業報告：訪問入浴介護事業

1. 事業所名：いなさ園訪問入浴介護事業所

2. 職員体制状況

職 種	員 数	所持資格、勤怠状況等
管 理 者	1 名	介護福祉士、介護職員と兼務
介護職員	3 名	介護福祉士、内 2 名通所介護と兼務
看護職員	3 名	看護師 1 名、准看護師 2 名。通所介護と兼務

3. 事業目標数、営業日数及び利用者動静

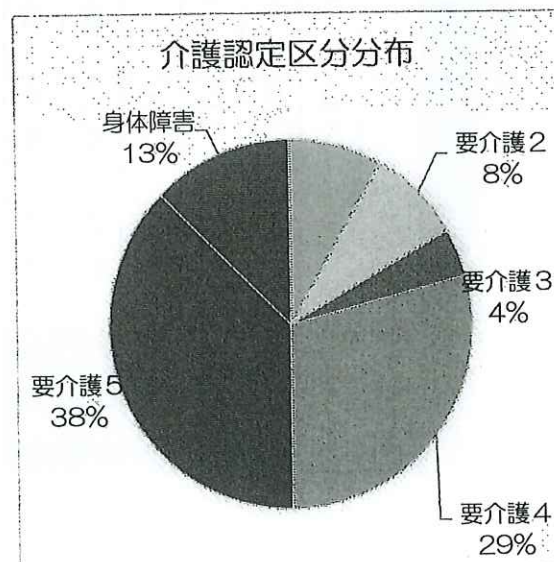
区分	月/年間延べ目標件数	営業日数	新規登録	終了	3 月末登録
介護保険	90 件/1,080 件	242 日	16 件	16 件	24 件
障がい支援	10 件/120 件		1 件	0 件	3 件

4. 事業実績（「()」内は昨年実績）

	件 数					
	介護保険		障がい支援		合 計	
R5. 4 月	112 件	(98 件)	7 件	(8 件)	119 件	(104 件)
5 月	96 件	(104 件)	10 件	(6 件)	106 件	(110 件)
6 月	98 件	(107 件)	9 件	(9 件)	107 件	(116 件)
7 月	112 件	(98 件)	11 件	(12 件)	123 件	(110 件)
8 月	103 件	(100 件)	12 件	(16 件)	115 件	(116 件)
9 月	95 件	(106 件)	11 件	(11 件)	106 件	(117 件)
10 月	108 件	(105 件)	13 件	(12 件)	121 件	(117 件)
11 月	91 件	(97 件)	12 件	(10 件)	103 件	(107 件)
12 月	92 件	(102 件)	10 件	(9 件)	102 件	(111 件)
R6. 1 月	83 件	(103 件)	9 件	(8 件)	92 件	(111 件)
2 月	82 件	(103 件)	12 件	(8 件)	94 件	(111 件)
3 月	97 件	(96 件)	15 件	(7 件)	112 件	(103 件)
合 計	1,169 件	(1,217 件)	131 件	(116 件)	1,300 件	(1,333 件)

5. 介護認定等区分（「()」内は昨年実績）

区 分	人数	
要支援 1	0 人	(0 人)
要支援 2	0 人	(0 人)
要介護 1	2 人	(2 人)
要介護 2	2 人	(3 人)
要介護 3	1 人	(2 人)
要介護 4	7 人	(6 人)
要介護 5	9 人	(10 人)
障がい支援	3 人	(4 人)
平均介護度	3.90	(4.00)



6. 基本報酬及び加算取得状況

①基本報酬

基本報酬及び加算名称	単位	算定件数
介護予防訪問入浴介護	852 単位／回	0 件
訪問入浴介護	1,260 単位／回	1,324 件
清拭又は部分浴	所定単位の 100 分の 90	9 件

②加算部分

基本報酬及び加算名称	単位	算定件数
サービス提供体制強化加算	44 単位／回	1,219 件
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）	所定単位×21/1000／月	270 件
初回加算	200 単位／月	19 件
看取り連携体制加算	64 単位／回	2 件

7. 今期のケース分析

訪問件数について、昨年度と今年度を比較すると 33 件減少した。考えられる要因としては、近い間隔で週 3 回、2 回利用の方のサービス終了で訪問が空いてしまう事があった。新規依頼あってもターミナルなどで、すぐに終了してしまったことも考えられる。また前年度に比べ、ターミナルの依頼が少なく、新規利用が 3 件減少していることも要因として考えられる。

8. 令和 6 年度事業計画目標 取組最終報告

1. 個々のレベルアップ

個別研修計画は、各自できた部分とできなかった部分があったので、次年度も各自で課題設定し振り返りや、外部研修に参加し目標達成できるようにしたい。介護報酬については概ね把握できていた。介護度が高いご利用者が多く、個々に合った介助方法をスタッフ間で検討し安全な入浴を提供した。新しい医療機器の導入時は、訪問先へ見学に行き安全に使用できるように努めた。

2. 顧客満足の追求

ご利用者の情報をスタッフ間で共有し、問題があれば話し合い改善して一人一人に合ったケアを提供できるようにしている。11 月に顧客満足度調査を実施し、不足な部分をスタッフ間で話し合い改善できるように努めた。

令和6年度 事業報告：居宅介護支援事業

1. 事業所名：いなさ園居宅介護支援事業所

2. 職員体制状況

職 種	員 数	所持基礎資格等、勤怠状況等
管 理 者	1 名	准看護師、主任介護支援専門員。介護支援専門員と兼務
介護支援専門員	4 名	介護福祉士。主任介護支援専門員 4 名

3. 事業目標数、営業日数及び利用者動静

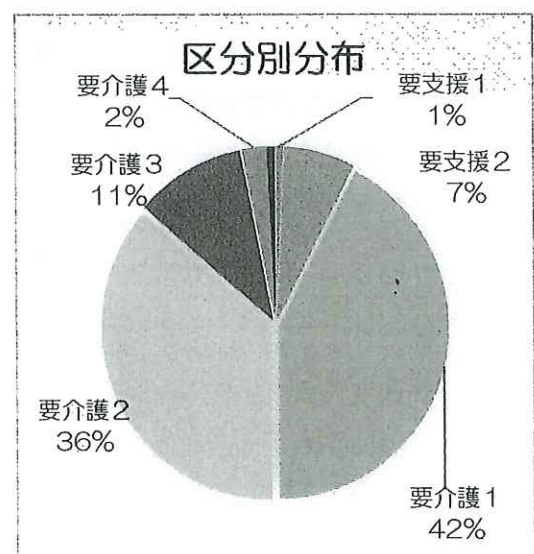
区 分	月/年間延べ目標件数	営業日数	新規登録	終了	3月末登録
介護予防	1,574 件 / 1,600 件	242 日	5 件	4 件	10 件
居宅介護			30 件	25 件	121 件

4. 事業実績（「()」内は昨年実績）

	件 数					
	介護予防マネジメント		居宅介護支援		合 計	
R6. 4 月	10 件	(6 件)	122 件	(128 件)	132 件	(134 件)
5 月	10 件	(7 件)	122 件	(127 件)	132 件	(134 件)
6 月	8 件	(9 件)	124 件	(125 件)	132 件	(134 件)
7 月	9 件	(10 件)	124 件	(124 件)	133 件	(134 件)
8 月	9 件	(9 件)	119 件	(122 件)	128 件	(131 件)
9 月	8 件	(9 件)	127 件	(125 件)	135 件	(134 件)
10 月	9 件	(9 件)	125 件	(132 件)	134 件	(141 件)
11 月	9 件	(9 件)	121 件	(133 件)	130 件	(142 件)
12 月	10 件	(8 件)	123 件	(120 件)	133 件	(128 件)
R7. 1 月	9 件	(8 件)	119 件	(122 件)	128 件	(130 件)
2 月	11 件	(9 件)	115 件	(116 件)	126 件	(125 件)
3 月	10 件	(11 件)	121 件	(115 件)	131 件	(126 件)
合 計	112 件	(104 件)	1,462 件	(1,489 件)	1,574 件	1,593 件

5. 介護認定等区分（「()」内は昨年実績）

区 分	人 数	
要支援 1	1 人	(2 人)
要支援 2	9 人	(8 人)
要介護 1	56 人	(57 人)
要介護 2	48 人	(46 人)
要介護 3	14 人	(11 人)
要介護 4	3 人	(6 人)
要介護 5	1 人	(0 人)
平均介護度	1.75	(1.71)



6. 加算取得状況

加算名	単位数	算定件数
特定事業所加算(Ⅱ)	407 単位/月	1,462 件

通院時情報連携加算		50 単位／月	0 件
入院時情報連携加算（Ⅰ）		200 単位／月	16 件
入院時情報連携加算（Ⅱ）		100 単位／月	15 件
退院・退所加算	Ⅰイ：カンファ無	450 単位	3 件
	Ⅰロ：情・有	600 単位	0 件
	Ⅱイ：情 2	600 単位	2 件
	Ⅱロ：情 2・カンファ有	750 単位	0 件
	Ⅲ：情 3・内カンファ有	900 単位	0 件
ターミナルケアマネジメント加算		400 単位／月	0 件
初回加算		300 単位／月	30 件
委託連携加算（介護予防 M）		300 単位／月	5 件

7. 今期のケース分析

昨年度同様に要介護度が上がるにつれ、登録者人数は減少している。要介護 4 以上の要介護者は、昨今の多様化する家族形態を鑑みると、在宅生活の継続が非常に困難から施設入所の希望が多い。新規申請者については、総合病院からの末期患者様や医療依存度の高い方の依頼が引き続き多く長期の支援に繋がりに難かった。また、サービスに繋がらない依頼も多かった。新規獲得のための働きかけを行っていた経緯もあり、今年度も 4 名体制で業務を行うが登録件数も伸びており目標の達成に近づく事ができた。

利用サービスについては、在宅での看取り支援の際に健康管理、機能維持回復目的での訪問看護（医療請求も含む）や、できるだけ自宅で生活できるようにと訪問リハビリテーションとの連携も行った。在宅診療医、栄養士、薬剤師、歯科医師による居宅療養管理指導の計画も必要に応じ取り組み、医療連携は活発になっている。デイサービスではリハビリ特化型の事業所が増え、自立支援目的での利活用が増加している。

8. 令和 6 年度事業計画目標 取組最終報告

1. 法令順守

昨年度に大掛かりな制度改正が行われ、加算の変更、高齢者虐待防止や身体拘束の適正化についても再度説明している。引き続き、ご利用者及びご家族に向けて「担当ケアマネジャーについての満足度調査」も定期的の実施している。質問事項についてわかり難い意見があった事もあり、実施の際には具体的な内容の見直しや検討を行うようにしご理解いただけるよう取り組んでいきたい。

2. ケアマネジメント業務の見直し

今年度は、研修や気づきの事例検討会にも力を入れており、事業所としてもレベルアップしている。ご利用者及びご家族へのケアについても、介護力・精神力ともバックアップできるようにケアマネジメント手法を身につけ知識や理解力の向上に努めた。要介護者や難病の方、身寄りのない方やヤングケアラーが在宅生活を送るうえで基盤となるのは地域や行政、包括との協力も必要であると再認識した。事業所としても今後は地域をふまえたケアプラン作成に重きをおき、地域との連携をさらに強化していくよう心掛けたい。

3. BCP への取り組み

災害時および感染症発症時における BCP 作成について、今年度も行政機関からの依頼により各自担当しているご利用者のプラン作成を行った。今年度からは、BCP 訓練も実施しており、今まで以上に具体的な避難プランや想定を考慮しながら訓練できるように備えていくことが必須となっている。

令和6年度 事業報告：訪問看護事業

1. 事業所名：いなさ園訪問看護ステーション

2. 職員体制状況

職 種	員 数	所持資格、勤怠状況等
管 理 者	1 名	看護師。訪問看護員と兼務
訪問看護員	5 名	看護師 5 名

3. 事業目標数、営業日数及び利用者動静

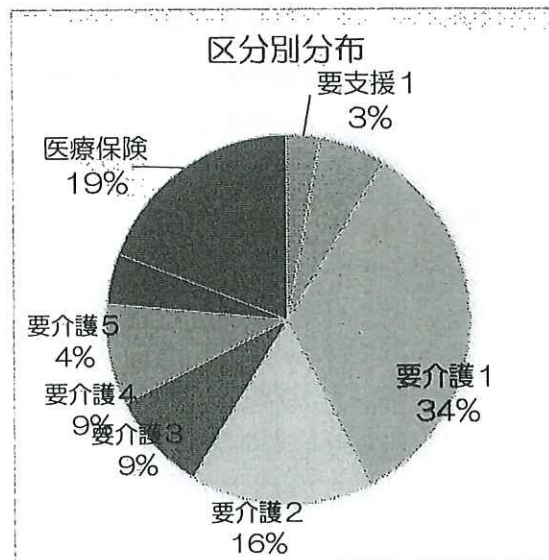
区 分	月/年間延べ目標件数	営業日数	新規登録	終了	3 月末登録
介護保険	210 件/ 2520 件	295 日	34 件	35 件	57 件
医療保険	90 件/ 1080 件		14 件	18 件	12 件

4. 事業実績（「()」内は昨年実績）

	件 数					
	介護保険		医療保険		合 計	
R5. 4 月	263 件	(201 件)	115 件	(70 件)	378 件	(271 件)
5 月	257 件	(214 件)	115 件	(73 件)	372 件	(287 件)
6 月	264 件	(228 件)	97 件	(85 件)	361 件	(313 件)
7 月	282 件	(223 件)	140 件	(92 件)	422 件	(315 件)
8 月	251 件	(212 件)	128 件	(102 件)	379 件	(314 件)
9 月	244 件	(216 件)	103 件	(117 件)	347 件	(333 件)
10 月	268 件	(235 件)	105 件	(144 件)	373 件	(379 件)
11 月	234 件	(236 件)	76 件	(131 件)	310 件	(367 件)
12 月	257 件	(260 件)	78 件	(126 件)	335 件	(386 件)
R6. 1 月	244 件	(220 件)	84 件	(103 件)	328 件	(323 件)
2 月	221 件	(217 件)	105 件	(105 件)	326 件	(322 件)
3 月	257 件	(227 件)	99 件	(137 件)	356 件	(364 件)
合 計	3,042 件	(2,689 件)	1,245 件	(1,295 件)	4,287 件	(3,974 件)

5. 介護認定等区分（「()」内は昨年実績）

区 分	人 数	
要支援 1	2 人	(0 人)
要支援 2	4 人	(5 人)
要介護 1	23 人	(19 人)
要介護 2	11 人	(13 人)
要介護 3	6 人	(6 人)
要介護 4	6 人	(9 人)
要介護 5	3 人	(4 人)
平均介護度	2.08	(2.18)
医療保険	13 人	(17 人)



6. 加算取得状況※介護保険部分のみ

加 算 名	単 位	算定件数
特別管理加算Ⅰ・Ⅱ	500 単位／Ⅰ／月	120 件
	250 単位／Ⅱ／月	57 件
ターミナルケア加算	2000 単位	3 件
緊急時訪問看護加算	574 単位／月	526 件
サービス提供体制加算Ⅰ	(Ⅰ) 6 単位／回	580 件
看護体制強化加算：予防	100 単位／月	算定なし
看護体制強化加算Ⅱ	200 単位／月	580 件
退院時共同指導加算	600 単位／回	15 件
複数名訪問看護加算	254 単位／30 分未満、402 単位／30 分以上	0 件
初回加算	300 単位／月	20 件

※予防訪問看護、訪問看護共通名称：特別管理加算、緊急時訪問看護加算、サービス提供体制強化加算、退院時共同指導加算、複数名訪問看護加算

7. 今期のケース分析

総合的には前年度を上回る実績ではあったが、医療保険の件数が減少している。年間通じて安定した利用者数を確保したいところ。記録の簡素化を目標に挙げたことで、訪問件数の増加につなげることが出来た。

8. 令和6年度 事業計画目標 取組最終報告

1. 利用者の想いに寄り添った看護の提供に努め、利用者と共に喜びを共感できる。

各スタッフが利用者の個別性を活かした計画の立案が行え、多職種とも連携出来、利用者の「やりたい」を支える看護の提供が出来た。

2. 記録の簡素化に取り組み、業務全体の見直しを行い実績回復に努める。

年度初めより、タブレット及びスマートフォンによる記録も可能となったため、移動の合間にも記録が可能となったことはかなりの業務改善に繋がった。音声入力も可能であるため、PC入力よりも格段に速く記録を終えることが出来る。緊急時訪問などは例外であるが、通常の訪問記録による時間外業務は減っている。また、記録の内容に関しても、簡潔明瞭に記載出来るよう、カンファレンスでもスタッフ間で声掛けを行いながら簡素化に努めた。記録時間の短縮により、訪問件数増加に繋げることも出来た。

令和6年度特別養護老人ホームみせんの里事業報告書

令和7年3月31日現在

1. 特養部門年次目標について

- ・表Ⅰ参照

2. 入居者の動向について

① 入所者数

男 性	14名	計 61名
女 性	47名	

②入退所状況

入 居	男 性	13名	計 25名
	女 性	21名	
退 所	男 性	8名	計 26名
	女 性	18名	

③退所理由

	園にて死亡	園外にて死亡	医療機関入院	その他
人 数	17名	7名	1名	1名

④年齢構成・在籍期間

		平均年齢	最高年齢	在籍期間
男 性	14名	82歳 7月	99歳 7月	1年7ヶ月
女 性	47名	90歳 9月	102歳0月	2年6ヶ月
計	61名	88歳10月	102歳0月	2年3ヶ月

⑤平均介護度

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男 性	0	0	2	7	5	4.21
女 性	0	0	5	25	17	4.26
計	0	0	7	32	22	4.25

⑥入居者の移動状況

- ・表Ⅱ 参照

⑦ベット稼働率

- ・表Ⅲ 参照

3. 入居者の生活

①入居者支援

i) ユニットケア

入居者10人をひとつの単位『ユニット』とし、介護職員も約5名を固定配置し、他のユニット職員とも協力を図りながら、入居者個々が個別の生活を営めるよう支援した。ターミナル時の取り組みなど、よりその人らしい生活を送ってもらうための取り組みを行えた。

ii) ユニットリーダー会

月に1回以上、各リーダー、施設長、相談員、看護主任、栄養士をメンバーとし、各ユニットからあがる課題や、施設全体のケアの方向、ユニット間の課題の調整など、施設の全体的なケアの中心となる会議と位置づけを行った。

iii) ユニット会

各ユニットごとに月1から2回程度開催し、入居者個々のカンファレンスや、ユニット内の課題の解決を行った。

iv) 専門委員会

各委員会ごとの活動を行った。

v) 介護相談事業

1ヶ月に1回の受入れを行った。感染対策の為会議室で個別に対応してもらった。

1回の訪問で4名程度の入居者の方と面談していただき、要望については日常の対応に生かした。

vi) 面会について

1回につき、人数は3名まで、時間は15分以内の制限を行いながら居室で対面での面会が出来るよう対応を行った。看取り期にある入居者については、制限を行わない方向で個別の対応を行った。

4. 施設実習受入れ

実習受任施設 トリニティカレッジ出雲校 7/5～24 2/4～13 各1名

出雲医療看護専門学校 9/18.19 9/26.27 9/30 10/1 計5名

5. 年間行事

- ・花見遠足 3/27～4/9 ユニット毎にワイナリー他 ・遙堪ふるさと祭り参加 8/13
- ・七夕祭り ・花火等 ……ユニット毎に企画し実施
- ・敬老祝賀会 9/14(土) ……規模を縮小し節目の対象のご利用者家族で式典を行い、食事会は入所者のみで実施
- ・忘年会 12/11(水) ・クリスマス会 各ユニットにて ・新年会 1/14(火)
- ・節分祭 2/3(月) ・雛祭り 各ユニットにて
- ・その他～
 - ・誕生会 毎月(各ユニットごとに実施)
 - ・その他 各ユニットごとに食事会等実施

6. クラブ活動

- ・喫茶・生け花 新型コロナウイルス感染予防の為中止

7. 短期入所生活介護

短期入所 i ベッド数 10

ii 基本数 3660 (ベッド数×総日数)

iii 延利用実数 2745人

iv 稼働率 75% ※表Ⅲ参照

8. コロナ感染症

- ・2月14日～28日を隔離期間 入居者11名 職員5名 計16名の集団感染(2つの感染経路)
- その他、職員の単発的な感染はあった。

令和年6度事業報告（看護部門）

1. 職員体制

常勤看護職員 3名 非常勤看護職員 4名、機能訓練員 1名

2. 利用者の健康管理に関すること

- ・介護職員との連携をとり、有熱者・要観察者の観察を行い、異常の早期発見に努めた。
- ・状態の悪化や変化がある場合、家族への報告、連絡を行い対応した。
- ・体重測定や定期健診の結果を元に、栄養士との連携を行い栄養状態の評価を行った。
- ・内服薬の管理、内服指導。
飲みやすい形態に変更したり、服薬できない時の調整を行った。
- ・少しでも薬剤量を減らすことが出来るよう、便性の観察を行い、緩下剤の調整を行った。
- ・定期的な病院外来受診への対応と、家族との連絡調整、報告を行った。
- ・嘱託医への状況報告や指示を受けることを行った。

3. 栄養・食事に関すること

- ・病院退院後または治療食中など、カロリー、塩分、たんぱく質の管理を行い、栄養士と共にご利用者の状態に合わせた形態に変更し、食べやすさの工夫を行った。
- ・誤嚥や嚥下障害のある方には観察を十分に行い、トロミの調整、食事量の調整、時間調整をすることにより、安全に食べていただけるよう配慮した。
- ・経管栄養法（経鼻、胃ろう）の管理
1日3回注入を行い嘔吐や誤嚥の無いよう注意して実施した。栄養量の調整も行った。

4. 感染予防に関すること

- ・入居者の肺炎球菌・インフルエンザワクチンの接種
- ・新型コロナウイルス感染症の予防の為、マスクの着用、消毒、手洗い等の徹底の喚起を行うとともに、ガウンや消毒液などの必要物品の確保も行った。又個別で休憩できる場所の確保などの相談も行った。
- ・年度を通し、入居者や職員の新型コロナウイルス感染が単発的に確認された。感染拡大予防に取り組み最小限の感染拡大にとどめることが出来た。
- ・インフルエンザやノロウイルス等の感染を予防することが出来た。

5. 救急看護に関すること

- ・昼夜を問わず、急変時医師への報告と共に、家族、医療機関への連絡、搬送と行った。
- ・救急処置（蘇生・酸素・吸引等）

6. ショートステイご利用者の健康管理

7. 終末期ケアに関すること

- ・終末期が安楽に、その人らしく過ごせるよう、家族との話し合いをもちながら、ケアプランを立案することにより、情報の共有に努めることが出来た。
- ・相談員・介護職員とともに終末期を中心とした医療の意向の確認を行い記録に残すことで、意向に添った対応を行うことができた。

8. 介護職員へのサポートと、医療的技術に関する指導、実施を行った。

9. 医療用物品、薬品の管理

10. 入所に関する調査や医療機関からの退院情報を多職種と話し合いを持ちながら、入所退院調整を行った。必要時には病棟カンファレンスに参加した。

令和6年度事業報告書(調理部門)

1、行事食 季節献立について

4月	お花見献立	9月	敬老の日献立 (お弁当)	1月	おせち料理
5月	端午の節句献立	9月	デイサービス敬老週間	2月	節分献立
7月	七夕献立	11月	おでん・ラーメンの提供	3月	桃の節句献立
8月	デイサービス納涼祭週間	12月	クリスマス献立	3月	ぼたもち作り
		12月	大晦日献立	3月	さくらもち作り

2、入所者の食事形態別人数 (令和7年3月31日現在 本入所のみ)

形態	給食数															
	主食										副食					
	米飯	おにぎり	全粥	七分粥	五分粥	おもゆ	ミキサー	パン	経管栄養	合計	軟菜並	刻み	小刻み	超刻み	ミキサー	経管栄養
朝	20	2	15				11	8	1	60	18	4	9	18	10	1
昼	24	4	18				11	1	0	60	18	4	9	18	10	0
夕	24	2	19				11	2	1	60	18	4	9	18	10	1

3、入所者の食事について

①咀嚼、嚥下困難な方への対応

- ・個々の摂食機能の状態により、トロミ調整食品、寒天、ゼラチン、ゼリーの素を使用
- ・摂食障害があり誤嚥のリスクが高い人にはソフト食の提供を行った

②嗜好、アレルギー、禁忌食品等の可能な限り代替を行なった

③療養食の対応 現在は加算対象者なし

④栄養量、食事量について

- ・入所者個々の身長・体重・年齢・性別・活動量・ストレス係数で必要量を算出したうえで数値を目安にし、ご本人の喫食状況、食事の様子、体調や希望をお聞きして食事量を調整した
- ・食事摂取量、栄養状態により必要な方には栄養補助食品を提供した
栄養補助食品は食べやすさに合わせて飲料タイプとゼリータイプなど用意し個別に対応した

4、その他、食事の取り組み

①感染予防を行いながら、ユニット単位の少人数で、食事作り・おやつ作りを行った

また、季節・行事ごとのイベントやたけのこ・ふきの皮むきなど季節の野菜の下処理を利用者と一緒に行った

出前をとり普段とは違った食事を食べていただく機会などを設けた

②手作りおやつを提供

毎月 1.2 回程度、和・洋さまざまな手作りおやつを用意した

季節感や見た目にも気を配り、楽しんでいただけるようなおやつを提供した

③デイサービス

普段の一汁三菜のお膳とは違う食事を楽しんで頂く為に、季節感を感じるお弁当を作成した。敬老会や納涼会ではちらし寿司や井ぶりなどの食事や一つの皿に沢山の品数が出た彩の良い食事を作り利用者様に食べていただいた

また、野菜と調味料を用意し、デイサービスの職員がその場で汁物、和え物等を作り出来立ての温かい食事を提供した

5、給食延べ食数（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

入所：69,084 食 ショートステイ：7,077 食

デイサービス：5,600 食

令和6年度 年次目標に関する評価

【みせんの里 特養部門】

【全体目標】	
目標 1	令和6年度の介護保険制度、報酬改定について正確に把握し法令遵守に努めるとともに、加算についても適切に取得する。
評価	介護保険制度、報酬改定について年度当初に理解することができ、6年ぶりにあった島根県からの実地指導の際も大きな指摘を受けることは無かった。令和7年度は今回経過措置となっている生産性向上委員会を設置し、具体的な取り組みを行っていく。
目標 2	ケアの質を求めながらも、介護ロボットや ICT の活用について学び、業務の効率化を検討する。
評価	情報収集を行ったが、十分な検討は行えなかった。次年度以降は補助金の活用も視野に入れながら、具体的な取り組みを進めていく。
目標 3	災害と感染症の事業継続計画（BCP）を完成させるとともに、訓練を行い有事にも適切に事業運営を行えるよう取り組む。
評価	BCP を作成し、災害については机上訓練を、感染症についても机上訓練と防護衣の着脱の訓練を行った。来年度については災害時の避難訓練を行うとともに、机上訓練で明らかになった課題を基に、BCP の見直しを行っていく。

【事務部門】	
目標 1	介護保険制度および介護報酬の改定年度にあたり、改定内容を正確に把握し、適正な施設運営を行うための知識の習得に努める。
評価	近年特に制度が複雑さを増し、迅速・正確に詳細を理解することが難しくなる中、請求業務や利用者等への周知含めて適切な対応に努めた。
目標 2	年度の初旬に予定するナースコール設備および電話設備の更新工事を、施工業者と施設職員が連携して、安全かつ入居者の生活に可能な限り影響の無いよう配慮して行う。
評価	一部で機器の手配漏れといったトラブルがあったものの、事前の十分な打ち合せや、施設と施工業者双方の柔軟な対応により、大きな影響なく工事を完了することができた。
【支援相談部門】	
目標 1	居宅介護支援事業所、病院や他施設との連携を強化し、日ごろから情報交換することで空床時に速やかに対応できるようにする。
評価	老健からの新規申し込みがない中、各病院の連携室とのつながりを強化し、新規入所者の7～8割が病院からの入所となった。しかし、稼働率の改善にはつながっておらず、居宅や他施設との連携にも力を入れる必要がある。
目標 2	入居者の生活歴や意向等の情報収集を細かく行い、チームで共有し統一したケアを提供する。
評価	入居時の家族へのヒヤリング、本人との関係作りを行うことで、個別ケアに繋げることに一定の効果があった。チームで統一したケアが行得るための情報共有に課題が残った。
【介護部門】	
目標 1	入居者の意思を尊重し、今までの生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮する。
評価	入居前の生活スタイル、日課、趣味等を入居時にアセスメントしているが、入居後に生かし切れていない部分がある。チーム内で共有し、施設での生活をより充実したものになるよう、今後取り組みが必要。
目標 2	コロナ禍で低調だった行事を、入居者の生きがいとなるよう改めて充実を図る。
評価	外出を中心に支援を行うことが出来た。しかし、ユニットにより大きな差があり、施設全体で取り組めるよう、今後も務めていく。

目標 3	福祉用具やロボットの活用など情報収集を行い、職員、入居者ともに負担の少ない介護に取り組む。
評価	委員会を立ち上げ情報収集等は出来たが、前に進んでいないのが現状。より専門性の高いチーム作るのが必要。
【看護部門】	
目標 1	標準的な予防策を徹底し、感染症の兆候の早期発見、早期対応に努める。
評価	他部門との情報を密にし、換気・手洗い等感染予防に努めた。
目標 2	面会制限が続く中で、入居者の体調などをご家族に丁寧に説明し、ともに安心して過ごせるように援助する。
評価	説明が必要な方については、事務所にホワイトボードを用意し名前を記載し職員が把握することで、面会に確実に医療的な情報を伝えることが出来た。また、細かな変化についても電話にて伝えるように努めた。
【機能訓練部門】	
目標 1	口腔衛生管理計画を確実に実施すること、また個々に合わせた口腔内トラブルの早期発見と予防に努める。
評価	口腔内トラブルに関しては、都度の対応を行った。計画を作成し、予防や早期発見に努めることは、来年度以降の課題となった。
【調理部門】	
目標 1	食事形態、味や食材の嗜好、食事の時間など、入居者一人ひとりにあった様々な個別対応を行う。
評価	個別対応については、料理の嗜好、味の濃い薄いなどの対応、主菜のみ量を増やす、副菜のみ刻むなど入居者の方に合わせて細かく対応を行った。 また、ユニットの要望に応じて衛生面も考慮しながら様々な時間で食事提供を行った 課題としては個別対応や食事時間の調整が細かくなりすぎたため、業務内容が複雑になり覚えるのが大変になり入れ間違い・入れ忘れなどがあったためできる範囲での個別対応を改めて考えることや、職員間でお互いに確認することを徹底したいと思う
目標 2	行事食やおやつも含め、日々の食事から入居者の楽しみのひとつとなる食事を目指す。
評価	感染症対策を行いながら現場で食事作りやおやつ作りを行った 入居者より直接料理のリクエストがあり目の前で話ながら一緒に調理を行った また、お好み焼き・冷やし中華・おでんといったような見た目から楽しめる料理や季節感を感じる料理を日々の献立にも取り入れた 季節の野菜の下処理や干し柿づくりなどを行い、入居者と一緒に話すことで普段の食事の時間とはまた違う昔の話をしたりして楽しんでいただく時間を作ることができた
【短期入所部門】	
目標 1	様々な方が利用される中で、一人ひとりに対して尊敬の念を持ち、言葉遣いやケア時の対応に気を配り、みせんの里に来てよかったと満足いただけるサービスに努める
評価	言葉使いについて、職員同士で気を配り悪い点についてはお互いに声を掛け合い修正することができ、ご利用者に良いイメージを持っていただくことができた。
目標 2	引き続き感染対策に配慮しながら、行事やレクリエーションを計画し、短期入所中の生活がより充実した物となるように努める。
評価	季節ごとの花火や餅つき、誕生日会等企画した。皆様に楽しんでいただくことは出来たが、次年度以降、外出も含めより多く企画していきたい。

表Ⅱ

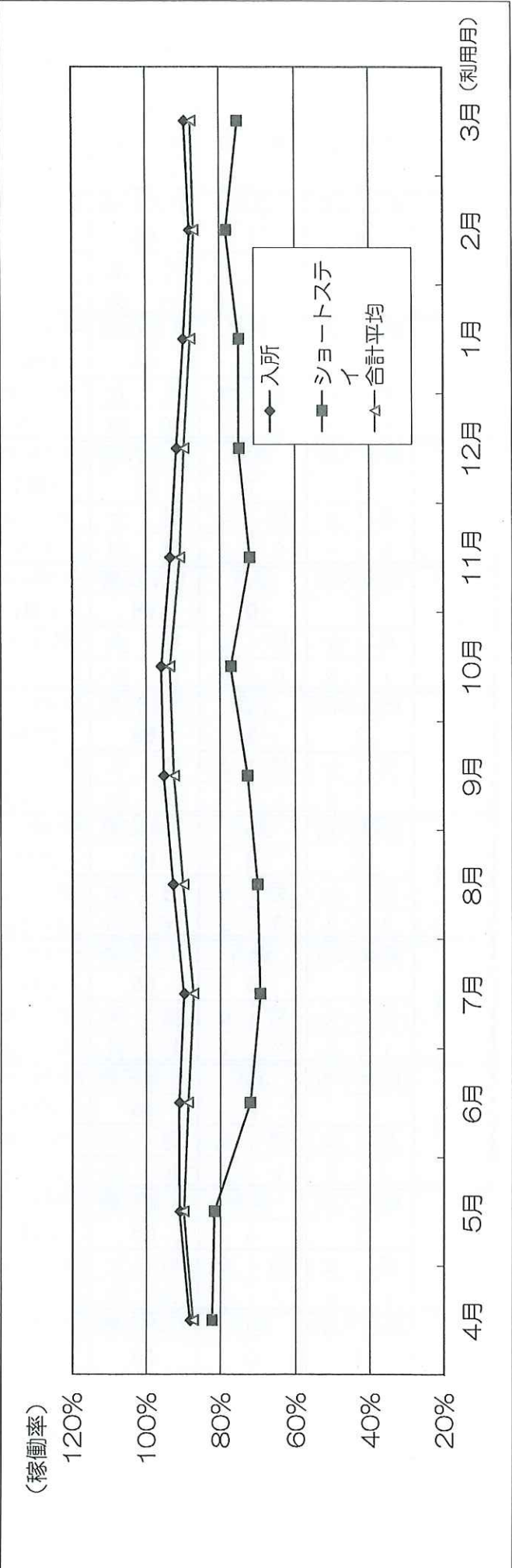
令和6年度 特別養護老人ホームみせんの里 入居者移動状況表

4月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	2		2		62		1875		0		0		3		22	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	1	1	1	9	53	295	1580	0	0	0	0	0	3	0	22
5月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	6		2		66		2013		0		0		4		37	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	5	0	2	10	56	298	1715	0	0	0	0	1	3	6	31
6月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	0		2		64		1944		0		0		6		30	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	0	0	2	10	54	300	1644	0	0	0	0	2	4	9	21
7月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	1		1		64		1981		0		0		2		32	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	0	1	10	54	310	1671	0	0	0	0	1	1	7	25
8月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	4		0		68		2031		0		0		3		17	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	3	0	0	11	57	312	1719	0	0	0	0	1	2	7	10
9月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	2		2		68		2004		0		0		1		3	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	2	0	1	2	13	55	337	1661	0	0	0	0	0	1	0	3
10月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	3		0		69		2115		0		0		3		33	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	3	0	0	2	16	53	444	1671	0	0	0	0	1	2	4	29
11月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	1		4		66		2040		0		0		6		74	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	0	2	2	15	51	483	1557	0	0	0	0	2	4	11	63
12月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	2		2		66		2039		0		0		2		46	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	2	0	1	1	16	50	476	1563	0	0	0	0	0	2	0	46
1月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	2		3		65		2034		0		0		7		83	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	1	2	1	15	50	474	1560	0	0	0	0	3	4	20	63
2月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	1		0		66		1831		0		0		5		34	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	1	0	0	15	51	420	1411	0	0	0	0	3	2	16	18
3月	新規入所		退所		月末在籍		入所実数(人数)		外泊		外泊(日数)		入院		入院実数(日数)	
	1		6		61		1991		0		0		4		58	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	0	2	2	14	47	469	1522	0	0	0	0	2	2	41	17

令和6年度 特別養護老人ホームみせんの里利用状況表

利 用 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	()内は前年度実績	
総 日 数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	合計	
入 所	ベッド数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840	
	基本数 (ベッド数×総日数)	2100	2170	2100	2170	2170	2100	2170	2100	2170	2170	2030	2170	25620	
	延利用実数	1853	1976	1914	1949	2014	2001	2082	1966	1993	1951	1791	1943	23433	23614
短 期 入 所	稼働率	88.2%	91.1%	91.1%	89.8%	92.8%	95.3%	95.9%	93.6%	91.8%	89.9%	88.2%	89.5%	91.5%	92.2%
	ベッド数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	
	基本数 (ベッド数×総日数)	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	290	310	3660	
合 計	延利用実数	247	253	216	215	217	218	239	216	232	232	227	233	2745	2658
	稼働率	82.3%	81.6%	72.0%	69.4%	70.0%	72.7%	77.1%	72.0%	74.8%	74.8%	78.3%	75.2%	75.0%	72.6%
	ベッド数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960	
合 計	基本数 (ベッド数×総日数)	2400	2480	2400	2480	2480	2400	2480	2400	2480	2480	2320	2480	29280	
	延利用実数	2100	2229	2130	2164	2231	2219	2321	2182	2225	2183	2018	2176	26178	26272
	稼働率	87.5%	89.9%	88.8%	87.3%	90.0%	92.5%	93.6%	90.9%	89.7%	88.0%	87.0%	87.7%	89.4%	89.7%

※ 短期入所は振替・身障利用を含む。



令和6年度 事業報告：通所介護事業

1. 事業所名：みせんの里デイサービスセンター

2. 職員体制状況

職 種	員 数	所持資格、勤怠状況等
管 理 者	1 名	介護支援専門員・社会福祉主事
生活相談員	1 名	介護福祉士
介護職員	5 名	介護福祉士 5 名（内 1 名は生活相談員と兼務）
看護職員	2 名	准看護師 1 名、正看護師 1 名（機能訓練員と兼務）
機能訓練員	1 名	作業療法士

3. 事業目標数、営業日数及び利用者動静

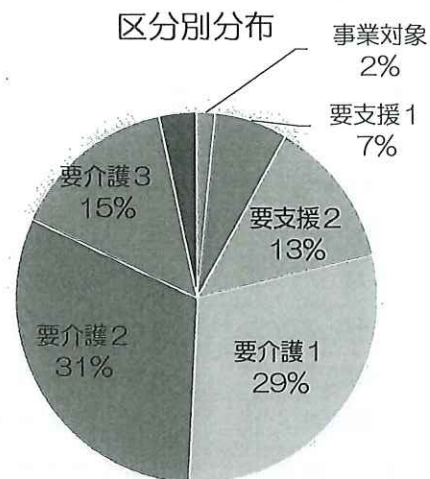
区 分	月/年間延べ目標件数	営業日数	新規登録	終了	3 月末登録
通所型独自	60 件/720 件	255 日	10 件	3 件	13 件
通所介護	390 件/4,680 件		18 件	4 件	48 件

4. 事業実績（「()」内は昨年実績）

	件 数					
	通所型独自		通所介護		合 計	
R6.4 月	63 件	(56 件)	449 件	(392 件)	512 件	(448 件)
5 月	65 件	(69 件)	441 件	(411 件)	506 件	(480 件)
6 月	51 件	(72 件)	400 件	(433 件)	451 件	(505 件)
7 月	60 件	(59 件)	450 件	(294 件)	510 件	(353 件)
8 月	62 件	(81 件)	411 件	(417 件)	473 件	(498 件)
9 月	57 件	(67 件)	397 件	(393 件)	454 件	(460 件)
10 月	73 件	(71 件)	425 件	(439 件)	498 件	(510 件)
11 月	68 件	(60 件)	405 件	(441 件)	473 件	(501 件)
12 月	75 件	(57 件)	394 件	(409 件)	469 件	(466 件)
R7.1 月	63 件	(62 件)	369 件	(379 件)	432 件	(441 件)
2 月	55 件	(70 件)	384 件	(426 件)	439 件	(496 件)
3 月	60 件	(64 件)	415 件	(416 件)	475 件	(480 件)
合 計	752 件	(788 件)	4,940 件	(4850 件)	5,692 件	(5638 件)

5. 介護認定等区分（「()」内は昨年実績）

区 分	人 数
事業対象者	1人 (1人)
要支援 1	4人 (3人)
要支援 2	8人 (6人)
要介護 1	18人 (27人)
要介護 2	19人 (22人)
要介護 3	9人 (10人)
要介護 4	0人 (2人)
要介護 5	2人 (1人)
平均介護度	1



6. 加算取得状況

加算名	単位数	算定件数
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）：独自	88 単位/月、176 単位/月	752 件
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）：介護	22 単位/回	4,940 件
個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ	76 単位/日	3,514 件
入浴介助加算（Ⅰ）	40 単位/日	4,304 件
ADL 維持等加算（Ⅰ）	30 単位/月	0 件
ADL 維持等加算（Ⅱ）	60 単位/月	0 件
科学的介護推進体制	40 単位/月	0 件
口腔栄養スクリーニング加算（Ⅰ）（Ⅱ）	Ⅰ：20 単位/回、Ⅱ：5 単位/回	0 件
栄養アセスメント加算	50 単位/月	0 件
介護職員処遇改善加算Ⅰ：独自	所定単位×92/1000	752 件
介護職員処遇改善加算Ⅰ：介護	所定単位×92/1000	4,940 件

7. 今期のケース分析

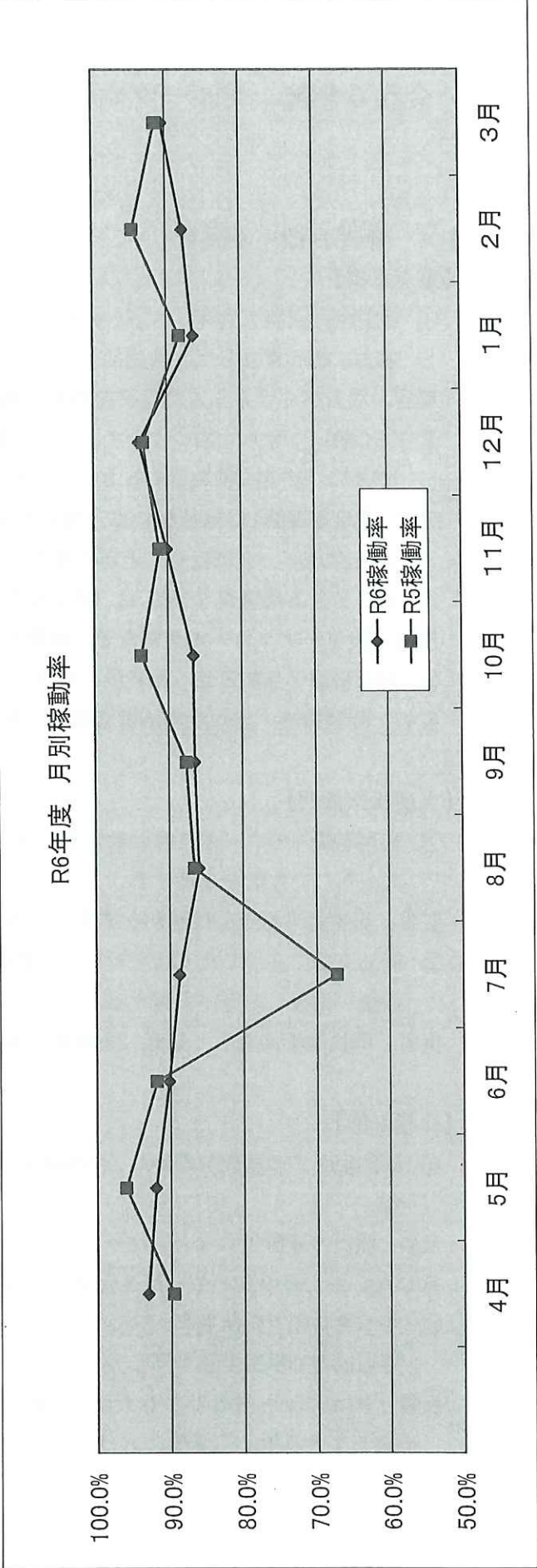
6 月からの数か月は毎月 3 名程度の入院、入所に加え、ご家庭の事情でショート利用の回数を増やされる方が数名あった。その間、新規利用者もあるが 1 月～3 月にも数名の入院、死去があり思うように稼働率を伸ばすことが出来なかった。

8. 令和 6 年度事業計画目標 取組最終報告

- 目標 科学的介護推進体制加算に取り組み、質の高いサービスの提供に努める。
評価 今年度中での登録、加算取得は間に合わず、来年度以降の課題となった。
- 目標 作成した B C P を職員全員が理解し、研修を通じて災害時に対応できるよう備える。
評価 全体会での研修に参加し、知識と対策への理解に努めた。来年度以降は避難訓練の実施を行うなど、災害時に対応できるよう努めていく。

令和6年度サービス稼働状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	22	22	20	23	22	21	23	21	20	20	21	21	256
(定員) × (日数)	550	550	500	575	550	525	575	525	500	500	500	525	6375
利用延人数	512	506	451	510	473	454	498	473	496	432	439	475	5719
(介護)	459	441	400	450	411	397	425	405	421	369	384	415	4977
(総合)	63	65	51	60	62	57	73	68	75	63	55	60	752
R6稼働率	93.1%	92.0%	90.2%	88.7%	86.0%	86.5%	86.6%	90.1%	93.8%	86.4%	87.8%	90.5%	89.7%
R5稼働率	89.6%	96.0%	91.8%	67.2%	86.6%	87.6%	93.6%	91.1%	93.2%	88.2%	94.5%	91.4%	89.1%



令和6年度 グループホームきづきの家 事業報告

令和7年3月31日現在

1) 年間目標への反省

【重点目標】

① 家庭的な環境で食事・入浴・排泄等の日常生活を手伝うことにより、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように支援していく。

反省：なるべく一人一人が役割を持ち、個々に応じた日常生活を営む事が出来た。

② 長く続いたコロナ禍によって、休止や縮小をしていた行事や地域活動について再開を検討し、安全に開催出来るように企画、実施する。

反省：遠足を再開し、家族様には一緒に行くことはできなかったが、利用者と職員で松江フォーゲルパークに行くことが出来た。

③ 安心できる環境作りを行う。(感染症防止・居室空間など)

反省：換気・アルコール消毒など、時間を決め全居室行うことができた。

④ 内部研修・外部研修へ積極的に参加し、職員の質・知識・技術の向上を目指す。

反省：権利擁護・認知症実践者研修など外部研修に参加し、スキルアップに繋がった。

【支援相談部門】

① 利用者個々のニーズに合わせた個別支援の充実。利用者の心身の状態の把握をし、その人らしい生活を支援する。

反省：居室担当を中心に個別ケアを行えるよう取り組んだ。

② 個別支援に基づいた支援を行い、支援経過の記録や会議等で共有し、それに基づいた評価・見直しを行い実施する。

反省：職員間で共有し、見直しを実施するよう支援できるよう努めた。

【介護部門】

① 認知症ケアの基礎を理解し、全職員が一定のレベルに達し質の高いサービスを提供する。

反省：職員の経験年数などにより、サービス提供に差がでてしまい、今後は情報などを共有しながら、質の高いサービスを提供するよう努める。

② きづきの家で生活されている利用者を、ユニットを越えて全員でケアしている意識を持ち協力し職員全員が同じ方向を向いてケアできるようにする。

反省：両ユニット対応できるように夜勤は配属ユニットのみではなく、両ユニット対応出来るよう日頃から勤務に入っている。

2. 入居者動向

① 入居者数

令和7年3月31日現在

	人数	合計
男性	3名	17名
女性	14名	

② 入退居状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
男性	入居	0	0	0	0	1	0	0
	退居	0	0	0	1	0	0	0
女性	入居	0	0	0	0	1	0	0
	退居	0	0	0	1	0	0	0
在籍者人数		18	18	18	16	18	18	18
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
男性	入居	0	0	0	0	0	1	
	退居	0	0	0	0	0	1	
女性	入居	0	0	0	0	0	1	
	退居	0	0	0	0	1	2	
在籍者人数		18	18	18	18	17	17	

③ 退居者状況

7月 男性1名 ・ 3月 女性1名 お亡くなりになった為

7月 女性1名 特養へ転居された為

④ 平均介護度

	要支援2	要支援1	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男性	0	0	0	1	2	0	0	2.6
女性	0	0	5	4	2	2	1	2.3
合計	0	0	5	5	4	2	1	2.4

⑤ ベット稼働率

別紙1参照

3. 運営推進会議

① 開催日時

第一回	5月28日(火)	出席者10名
第二回	7月23日(火)	出席者10名
第三回	9月30日(月)	出席者9名
第四回	11月28日(木)	出席者9名
第五回	1月24日(金)	出席者11名
第六回	3月21日(金)	出席者10名

② 出席者

出雲市高齢者福祉課職員 南本通町内会長 民生児童委員
入居者家族代表 利用者 きづきの家(開設者 管理者 職員)

4. 行事計画

・全体行事

9月 敬老祝賀会

10月 松江フォーゲルパーク遠足

・ユニット季節行事

季節にちなんだ行事を実施。地域で行われている祭不参加。

5. 避難訓練実施状況

- ・火災発生時避難訓練(第一回) 9月5日(木)
夜間想定 結ユニットから出火。 避難場所 駐車場
訓練後に大社消防・山陰防災より評価をうける。

○参加者

大社消防(3名) 山陰防災(2名) 施設職員(9名) 利用者(17名) 1名入院中

- ・火災発生時避難訓練(第二回) 3月24日(月)
夜間想定 縁ユニットから出火 避難場所 駐車場
訓練後に山陰防災より評価をうける。

○参加者

山陰防災(1名) 施設職員(9名) 利用者(18名)

- ・水害避難訓練 9月5日(木)
洪水発生想定 避難経路確認 いなさ園に避難

○参加者

施設職員(9名) いなさ園協力職員(1名) 利用者(17名) 1名入院中

3月24日(月) 経路の確認

6. 地域との関わり

- ・南本通町内会(第2班)に加入。

町内会行事へは内容を見て可能な範囲で参加。

参加した行事: 大社地区一斉清掃 6月2日(日)
大社地区一斉防災訓練 9月1日(日)

秋葉神社夏祭り	6月16日(日)
秋の荒神社祭	10月13日(日)
新年賀会	1月5日(日)
とんどさん	1月12日(日)
町内掃除	4月28日(日)

7. ボランティア受け入れ状況

- ・島根県立大学

8. その他

- ・地域密着型サービス 外部評価 3月12日
評価機関 (有) 保健情報サービス

令和6年度 グループホームきづきの家利用状況

利用日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
ベッド数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
基本数(ベッド数×総日数)	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6570
新規入所人数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
総入所人数	18	18	18	16	18	18	18	18	18	18	18	17	213
退所人数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
入院人数	0	1	2	0	1	1	1	0	2	2	0	1	11
入院日数	0	23	33	0	17	18	4	0	40	25	0	3	163
外泊人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延利用実数	540	535	507	536	503	522	554	540	518	533	504	553	6345
稼働率	100.00%	95.88%	93.89%	96.06%	90.14%	96.67%	99.28%	100.00%	92.83%	95.52%	100.00%	99.10%	96.58%

S

稼働率

